市政と山形地区を結ぶ総合情報紙

やまがた

総合支所だより(No.20)

2011 春号

今号の主な内容

●新市誕生５周年特集 …… p 2～5
●やまがた地域振興協議会　等 …… p 6～7
●おらほの話題 …… p 8～9
●お知らせ …… p 10

新市誕生から５年

山形村から山形町へ

平成18年3月6日、旧久慈市と旧山形村が合併し、新久慈市が誕生し、間もなく、丸5年たちます。これまで、旧久慈市と旧山形村の一体感醸成に向けて、さまざまな事業や取り組みが行われてきました。

旧山形村時代から続く、「教育旅行」の受け入れは、新市にも受け継がれ、多くの子どもたちが山形町を訪れています。また、合併により、海での体験メニューもできるようになりました。

また、合併後に取り組みが始まった例として、平成19年度から始まった「ぐれっと！やまがた街道祭（けえどおさい）」があります。

同街道祭は、今年度で4回目を数えましたが、秋の一大イベントとして定着しつつあります。来場者は県内外から多く訪れ、秋の賑わいが創出されました。

教育旅行でツリーイング（ロープを使った木登り）を体験する子どもたち（写真上）

賑わいを見せる「ぐれっと！やまがた街道祭」（写真右）

故郷への思い

久慈市市制施行五周年に寄せて

山形町同郷会会長
小向　鉄男さん
（埼玉県在住）

私の郷里には、海が無い。山は沢山あります。海のある久慈市、山だけの山形村が合併。海、文化、産業、水産業、夢、当時格別な思いでした。

久慈市民が一丸となり、関係各位のご尽力で地域の特長を生かし、目覚ましい発展を持続とのこと。東京で、ある会合等で久慈市の職員の方々とお会いする場もあり、お話を聞くことがあります。

今後、地域の福祉、農林、水産、産業のさらなる発展と、緑と海の恵みを生かし久慈市の発展をご祈念申し上げ、関係各位様、厳しい気候に留意しご活躍されることをお祈り申し上げます。

進む一体感醸成

新市 山形町の歩み

合併してからさまざまな出来事がありました。山形町の５年間を振り返ってみましょう。

来内小学校、来内保育園が完成。平成20年１月19日の「新たな学び舎を祝う式」では、児童によるハンドベルの演奏が披露され、式終了後には、新校舎でさっそく小正月行事（写真下）が行われました。

山形町には東北唯一の闘牛が受け継がれています。平成21年６月14日には全国闘牛サミットが開催され、全国から多くの参加者が集まりました。また、全国闘牛サミット開催記念闘牛大会（写真上）も併せて開催され、新潟からも大会に参戦しました。

また、毎年開催される闘牛大会にも、県内外から多くの観客が訪れ、迫力ある闘いに歓声が上がります。

聞かせてください あなたのこえ

町内に住む12名の方々から、今後の市に期待することを伺いました。（50音順）

小笠原巨樹（なおき）さん・荷軽部（荷軽部青年会長）

「元気な山形に」

荷軽部は昔から団結力があり、活気のある地区だと思います。しばらく山形を離れていましたが、そういうところは変わっていなくてよかったです。

雇用の場が増えて、元気な山形になってもらいたいです。

大矢内 正さん・繋（繋老人クラブ副会長）

「地域にも働く場所を」

集落に人が少なくなって、草刈りなどの地域活動が難しくなりました。老人クラブでも活動がないのでなかなか勧誘できません。

若い人には仕事がなくて地域に残らない。地域にも働く場所が欲しいです。

内間木美治（よしはる）さん・小国（教育旅行インストラクター）

「インストラクターの養成を」

教育旅行で使えるフィールドが限られているので、整備してもらえると楽になります。インストラクターをできる人が少なく、新しい人が出てくるよう人づくりをしてもらいたいです。

岩脇ヨシエさん・霜畑（ホウレンソウ農家）

「空きハウスの活用を」

高齢などで作業ができなく、使われなくなったハウスが増えてきています。

そういった空きハウスが活用されるように、やりたい人や作業を手伝ってくれる人を見つけるような支援をお願いしたいです。

まだまだほかにも

年	月	日	できごと
平成18	3	6	新久慈市誕生
	4	23	日野沢小学校が読書活動優秀実践校表彰（文部科学大臣表彰）を受賞
	6	3	久慈市合併記念式典開催
	6	26	地域コミュニティ振興事業制度開始
	8	10～17	大相撲春日野部屋・明治大学相撲部夏合宿を山形町で開催
	10	6~8	低気圧災害が発生
	10	28	小国小学校創立130周年記念式典開催
	11	7	山形町で初の市政懇談会開催
19	3	14	成谷自然食の会が「食アメニティコンテスト」農林水産大臣賞を受賞
	10	26	霜畑集落が「豊かな村づくり」農林水産大臣賞を受賞
	11	20	バッタリー村が地方自治功労表彰（総務大臣表彰）を受賞
	12	26	バッタリー村が県から元気なコミュニティ100選に選定される
20	1	24	栃乃花関が現役を引退し、年寄二十山を襲名
	2	11	第１回久慈市民おらほーる劇場開催
	4	8	平庭高原自然交流館（しらかばの湯）オープン
	6	11	日野沢森林愛護少年団が地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）を受賞
	8	13	大相撲夏巡業「南部久慈場所」が久慈で開催
21	3	26	日野沢少年消防クラブが全国少年消防クラブ運営指導協議会会長（消防庁長官）表彰を受賞
22	12	1	短角の里と都市を結ぶ集い実行委員会が農林水産省から「食と地域の『絆』づくり」優良事例に選定される

山形町出身の元小結栃乃花関（現二十山親方）が現役を引退。平成21年1月30日、両国国技館で引退断髪式（写真上）に臨みました。多くのファンから愛された栃乃花関の引退に、会場から惜しみない拍手が送られていました。

下斗米孝喜（たかのぶ）さん・川井（やませ雑穀組合理事）

「畑作物への積極的な支援を」

来年度からは畑作物も戸別所得制度の対象になるということですが、市でも積極的に支援をしてもらいたいです。

そうすることで、麦やソバなどを作付けする人が増えて、遊休農地の解消にもつながっていくと思います。

下舘　進さん・戸呂町（畜産農家）

「多くの人に短角牛の良さを」

市内にも短角牛肉を取り扱う店が増えていますし、学校給食でも使われるようになりました。東北唯一の闘牛も、定着させていきたいです。

もっと多くの人に短角牛の良さを知ってもらいたいと思います。

木藤古徳一郎（きとうご）さん・荷軽部（バッタリー村長）

「地域に関心を持つことが大事」

旧市村の郷土芸能を通じて、文化の交流や一体感醸成につながっていると思います。

地元の人が地域に関心を持つことが大事。久慈にはよそに負けない素材がたくさんあります。それをいかしていくよう目指したいです。

落合孝男さん・来内（来内小学校ＰＴＡ会長）

「みんなが住みやすい環境を」

来内小学校の校舎がきれいになって子どもたちも喜んでいます。不便と思うのは、旧久慈市内の会議が増えたことです。

子どもからお年寄りまで、みんなが住みやすい環境をつくっていってもらいたいです。

平成22年８月２日、久慈消防署山形分署が山形総合支所敷地内に移転し、開署式（写真上）が行われました。

霜畑中学校が山形中学校へ統合。平成21年４月４日に統合後初の入学式（写真上）を迎えました。

平成21年11月14日と15日に開催された実践総合農学会第４回地方大会（写真左）では、町内の方も自身の取り組みや夢について語りました。

久慈高等学校山形校が閉校し、61年の歴史に幕を閉じました。平成22年３月４日の閉校式典（写真上）には多くの関係者が参加し、閉校を惜しんでいました。

谷地ユワノさん・荷軽部（まめぶの家代表）

「みんなが元気になる地域に」

交流の輪が広がったと思います。まめぶを通して全国との交流を目指していますが、もう一歩のところまで来たと感じます。

いつでも一生懸命になって、みんなが元気になる地域にしたいと思います。

南野榮藏さん・川井（川井盆踊り保存会長）

「現状を維持していってもらいたい」

全体としては合併して良かったと思います。県規模の大会が山形でも開催されるようになったのはうれしいです。

現状より悪くなることがないよう維持していってもらいたいです。

二ツ神珠乃（じゅの）さん・日野沢（山形中学校生徒会長）

「人との関わりを大切に」

部活でほかの学校と練習試合をする機会が増え、生徒会も交流ができ、他校の様子を知ることができました。

人との関わりを大切にしていきたいです。炭などの山形の特産品が有名になればいいと思います。

鈴木つえ子さん・来内（来内婦人会長）

「昔ながらの味を大切に」

山形の郷土料理が様々に加工されていますが、昔ながらの味や食べ方も大切にしてもらいたいと思います。

久慈の玄関口として日本一の白樺林のある平庭をPRしてもらいたいです。

山形町に二つ目のＮＰＯ設立

やまがた地域振興協議会始動

「明るく元気な活力に満ちた住みよいまちづくり」を目標に、山形町の住民が一体となった組織として設立されました「特定非営利活動法人やまがた地域振興協議会（橋本實会長）」が、その目標を達成させるため、活動をスタートさせました。

山形の地域振興と活性化等を目指して

やまがた地域振興協議会は、昨年９月21日に、設立総会を開催し、町内の各自治会や団体から推薦された人たち、47人が会員となって設立されました。

同協議会は、昨年末にＮＰＯ法人の設立認証を久慈市長から受け、今年１月７日に法人登記を済ませて、特定非営利活動法人となりました。

川井地区で開催された地域懇談会

市内にある他の地域振興協議会では、これまで、法人化している例はなく、ＮＰＯ法人となったやまがた地域振興協議会が、先駆的な取り組みとなっています。

まず、地域懇談会、町新年交賀会を開催

協議会では、地域課題の掘り起こしのために、平成22年12月９日から平成23年１月29日にかけて、町内の小学校区ごとに８地区で地域懇談会を開催しました。懇談会では、出席した住民から多くの意見が出されていました。

また、１月４日には、山形町新年交賀会を開催。会場となった山形老人福祉センターには、約80人が集まり、年頭のあいさつを交わすとともに、山形町のまちづくりなどについて、語り合っていました。

やまがた地域振興協議会長のコメント

会長の 橋 本　實さん

合併をして、山形町を一つにまとめる団体がないということで、やまがた地域振興協議会を設立することにしました。

地域の問題点や課題を共有し、山形町の元気づくりをしたいと思っています。

協議会は、地域間の横のつながりをサポートする接着剤のようになればよいと考えています。

明るく、住みよいまちづくりを目指して、町民の皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

フレッシュさん 出番で～す

「まめぶを食べてみたい」

新山（にいやま） 夢香（ゆか）さん（本町）

－自分の性格を一言で
生真面目。話を聞いてるようで聞いていない。

－趣味は
猫と遊ぶこと。

－今欲しいものは
テレビ。32インチのやつ！

－今挑戦してみたいことは
一人旅で遠くに行ってみたい。あまり旅行とか行かないので。

－好きな異性のタイプは
マッチョな人（笑）

－最後に一言
まめぶを食べさせてくれる人、募集中です。

プロフィール

- 年　齢　20歳
- 血液型　A型
- 勤務先　プレステック㈱ガタゴン給油所

コミュニティ振興事業の紹介

こっただごどをやったったあ

事業名：荷軽部水芭蕉群落地の環境整備事業
団体名：荷軽部自治会
地区名：荷軽部地区

合併後の平成18年度からスタートしました「地域コミュニティ振興事業補助金」を活用して、地域活性化等が図られている事業を、紹介していきます。
今回は、平成20年度に実施された「荷軽部水芭蕉群落地の環境整備事業」を紹介します。

荷軽部で水芭蕉群落地を整備

水芭蕉群落地に整備された木道

荷軽部地区木藤古集落内にある水芭蕉の群落地。春になると、白く美しい花を咲かせ、見る人を楽しませます。この水芭蕉の保護と生育を図るため、荷軽部自治会では、「荷軽部水芭蕉群落地の環境整備事業」を実施しました。
事業の内容は、水芭蕉の生育を妨げる雑木や葦の刈り払い、群落地への歩道等整備、入口への看板設置です。
この事業により、地域の宝である水芭蕉群落地を整備したことで、「水芭蕉観察会」を開催するなど、地域活動にもつながりました。

群落地に咲く水芭蕉

地域コミュニティ振興事業を募集

市では、自治会や団体の皆さんが、地域の個性を活かして行う地域づくり活動に対し、「地域コミュニティ振興事業補助金」を交付してその活動を支援しています。
地域コミュニティ振興事業補助金の活用事業を募集しています。ただし、実施できるのは1会計年度で1団体につき1事業です。
詳しくは山形総合支所ふるさと振興課（☎72－2111内線108）までお問い合わせください。

対象事業

- 地域の一体感醸成など地域振興を目的とする事業
- 歴史、文化、伝統芸能の継承活動、保存を目的とする事業
- 自然環境の保全、活用を目的とする事業
- 地域で活動する人材育成を目的とする事業

補助率

ハード事業　3分の2以内
ソフト事業　4分の3以内

※補助金の限度額はどちらも100万円

寒さに負けず大盛況

平庭高原スキー場まつり

2月12日、平庭高原スキー場で、平庭高原スキー場まつり（同実行委員会主催）が開催されました。

当日は、雪が舞い、寒い中ではありましたが、それでも多くの人々が会場に訪れました。

冬の一大イベントであるまつりは、11時の開始から最後の花火大会まで、一日を通して、さまざまなイベントが行われました。

今年も盛り上がったお年玉付もちまき大会

11時30分から始まった「宝さがし大会」には、たくさんの子どもが参加し、開始の合図とともに子どもたちは一斉にお宝を探し始めました。お宝を見つけると、「あったぁ！」と歓声を上げて喜んでいました。

また、「ケッツすべり選手権大会」、「雪上パークゴルフ大会」も行われ、多くの参加者が競技を楽しんでいました。

14時30分からは、川井地区の子どもたちが、「子供大黒舞」を演舞。その後、演舞した子どもたちも一緒になって「お年玉付もちまき大会」が行われました。もちまき会場には、たくさんの人たちが詰め掛けました。

恒例となったビンゴ大会は、雪のためレストハウスの中で行われ、参加者はビンゴカードを手に、番号が読み上げられるたびに歓声を上げていました。

暗くなってからは、ろうそくの明かりが幻想的な「夢灯り」に加え、ゲレンデをたいまつが流れる「たいまつ滑走」が行われ、その美しさに訪れた人たちは見入っていました。

まつりの最後を飾る花火大会では、スキー場開設30周年と市制施行5周年を記念して、例年より多い約千二百発の花火が打ち上げられ、会場は大いに盛り上がりました。

神秘の美しさ

内間木洞氷筍観察会

内間木洞氷筍（ひょうじゅん）観察会（山形公民館主催）が2月11日に開催されました。

内間木洞は、普段は公開されていないため、今回の公開では、特にも冬の洞窟が造り出す氷筍を観察できるとあって、市外からの参加者も多く、遠く関東方面から訪れた人もいました。

氷筍は、天井から落ちた水滴が、地面に凍りつき、その上に連続的に滴る水滴が氷となって、だんだんと上に伸び、筍（たけのこ）状に成長してできます。

参加者は、洞窟の入口で氷筍などの説明を受けて、中へと入っていきました。今年は例年よりもやや小さめということですが、ライトアップされた氷筍は、神秘的な美しさで参加者を迎えていました。

軽米町から来た男性は、「とてもきれいで、来て良かった」と、話してくれました。

また、洞窟の外では、小国自治会（二橋修会長）と、久慈まめぶ部屋が、田楽やまめぶ、手打ちそばなどを販売。会場に訪れた人は冷えた体を温めていました。

美しく輝く内間木洞の氷筍

Topics
トピックス

夕向ハナさん白寿を祝う

明治45年1月18日生まれの夕向（ゆうむかい）ハナさんが99歳の誕生日を迎え、入所している特別養護老人ホーム愛山荘（大畑勝治所長）で長寿祝いが行われました。山内市長から「白寿」と書かれた直筆の色紙と、記念品の羽毛布団が贈られ、愛山荘を運営する社会福祉法人山形福祉会の戸﨑武文理事長からもお祝いの花束が手渡されました。息子のお嫁さんのミサホさんに長寿の秘訣を聞くと、「特に健康に気を使っていたわけではないので、亡くなったお父さんとの晩酌ぐらいしか思い当たらない」とのことでした。

色紙を受けとる夕向さん(左)

繋小児童会が車いす寄贈

繋小学校（菊池育子校長）の児童会が、自分たちで作った野菜や廃油石鹸を販売した売り上げで、特別養護老人ホーム愛山荘（大畑勝治所長）に車いすを寄贈しました。児童会長の湯瀬倭人（ゆぜやまと）くんは、「これに乗って好きなところへ行ってもらいたいです」とあいさつ。愛山荘を運営する社会福祉法人山形福祉会の戸﨑武文理事長は「心のこもったお金で買っていただいた。愛山荘の人たちも大変喜んでいます」と感謝の言葉を述べていました。

戸﨑理事長(左)と
繋小児童会メンバー

熱演する出演者たち

熱演に大きな拍手
おらほーる劇場

平成22年12月26日、久慈市民おらほーる劇場第４回公演「琥珀の大地」が、おらほーるで開催されました。

公演は、昼の部と夜の部の２回行われ、合わせて約５００人が観劇しました。

開演前の舞台裏では、出演者やスタッフたちが、セリフや舞台装置のチェックをしていました。また、みんなで手をつないで輪になり、気合を入れて舞台に臨んでいました。

毎年、さまざまなストーリーで観客を楽しませてくれる久慈市民おらほーる劇場。今年度は地元の平庭高原を舞台に、ガタゴンやフォレストボードなど、所々に山形を思わせるものが登場しました。

主人公はクリスマスの夜、恋人へ貴重な虫入り琥珀のブローチをプレゼントしますが、彼女はなんと大の虫嫌い。プレゼントを返されてしまった主人公は、ショックで琥珀を壊してしまいます。すると、主人公は何故かピンクの恐竜姿に…。

恐竜になってしまった主人公を中心に、個性豊かな出演者たちが笑いあり感動ありのストーリーを演じ、夢を追いかけることの大切さを改めて感じさせる舞台となりました。

また、劇の途中には、「たらりらくじバージョン」を作った岩手県出身の歌手「アンダーパス」が舞台に出演。おらほーる劇場を盛り上げてくれました。

舞台の最後には出演者全員が揃ってあいさつ。客席からは、大きな拍手が送られました。

公演を終えて観客を見送る出演者たちは、緊張から解放され、ほっとしたような笑顔を見せていました。

劇中歌で出演したアンダーパス

構成・作のこむろこうじさんは、「無事に終了できてよかった。出演者の皆さんは、これで終わりですが、私はここからスタートです」と、早くも次への意欲を燃やしていました。

山形のカレンダー 3月

月	日	曜	行事
3	5	土	山形地区卓球大会
	6	日	一般家庭、独居老人家庭予防査察（火防点検）
	12	土	山形中学校卒業式
	17	木	小国小学校、繋小学校卒業式
	18	金	山形小学校、霜畑小学校、戸呂町小学校、日野沢小学校、荷軽部小学校卒業式
	19	土	来内小学校卒業式
	20	日	日野沢小学校閉校式典
	23	水	戸呂町保育園、かわい児童館卒園式
	24	木	来内保育園、霜畑児童館卒園式
	25	金	荷軽部保育園卒園式
	27	日	繋小学校閉校記念式典

※日程は変更となる場合がありますのでご了承ください。

春季火災予防運動　3月1日～7日

- 防火パレード …… 3月1日(火)
- 一般家庭予防査察 …… 3月6日(日) 午前9時
- 防火座談会 …… 〃 午後1時30分
  (霜畑コミュニティーセンター)

民泊受入先・インストラクターを募集します

市では、教育旅行に訪れる生徒たちの民泊や体験指導に協力していただける方を募集しています。

自然や生活文化等に触れ、山形町でしか味わえない貴重な体験を、交流を通じて皆さんの手でサポートしてみませんか。きっと子どもたちの笑顔と思い出、そして皆さん自身の喜びや活力につながります。

申込みや詳細については、市交流促進課（☎52-2168）またはふるさと体験学習協会（☎75-3005）までお問い合わせください。

編集後記

▽年末年始の大雪、すごかったですね。停電の中で新年を迎えた方も多かったようです。▽3月に入り、季節はもうすぐ春ですが、まだインフルエンザが流行っていますので、皆さんもお気を付けてください。（野田）

表紙の写真

2月6日に、霜畑地区で小正月行事が行われ、地区の住民約70人が参加しました。子どもたちは夢中になって、自分たちで作った団子を飾り付けていました。

お知らせ

小学校2校が閉校

135年の歴史に幕を閉じる日野沢小学校

日野沢小学校（田中淳校長）と繋小学校（菊池育子校長）の2校が閉校し、平成23年4月1日から山形小学校（佐々木政文校長）へ統合されます。

これまで3校は、交流学習を通じ、それぞれの児童は互いに交流を深めてきました。

日野沢小学校閉校式典

日野沢小学校の閉校式典が、3月20日（日）、10時から同小学校を会場に開催されます。

式典終了後には、閉校記念碑除幕式・思い出を語る会も行われます。参加を希望される方は、日野沢小学校（☎72―2031）までお問い合わせください。

繋小学校閉校記念式典

繋小学校の閉校記念式典が、3月27日（日）、10時から同小学校を会場に開催されます。

式典終了後には、思い出を語る会も行われます。参加を希望される方は、繋小学校（☎75―2631）までお問い合わせください。

ドーム型屋根が特徴の繋小学校

「やまがた総合支所だより」は年4回発行。次回は6月ごろの予定です。
発行・岩手県久慈市　編集・山形総合支所ふるさと振興課〈〒028-8602　久慈市山形町川井8-30-1　☎72-2111㈹108〉